



「第 85 回全国書画展覧会」

文部科学大臣賞 田村真奈花さん おめでとう

11 月 19 日（日）熊野町民会館にて「第 85 回全国書画展覧会」の表彰式がありました。

全国の小・中学生の出品作品約 14 万 7 千点の中から、文部科学大臣賞に本校 3 年生田村真奈花さんの書が選ばれました。去年は、総理大臣賞でしたから、2 年連続の快挙です。また、中国四川省内江市長賞に 1 年生田口輝月くんの書、広島県議会議長賞に 1 年生次藤咲さんの『私の好きな夕焼け』の絵が選ばれています。

以下、田村さんの受賞にあたってのコメントを載せます。

「この度は、『文部科学大臣賞』という荣誉ある賞を頂き、本当にありがとうございます。受賞の知らせを聞いた時は、本当に嬉しく、また前回に続いて栄えある入賞ができたので、信じられない気持ちでいっぱいでした。

今年は中学生最後の年になるので、悔いの残らないようにしようと一生懸命練習を始めました。最初は、部首と旁（つくり）のバランスや筆の流れ、なめらかな線に気をつけて書くことが難しく苦勞しましたが、先生に丁寧に指導して頂きながら、諦めず練習すると、日を重ねる度に自分の思う字が書けるようになったので、とても嬉しかったです。

私がこの素晴らしい賞を頂けたのは、親切に指導して下さった先生、いつも励まし応援し続けてくれた家族、一緒に努力し合った仲間がいたからだと心から感謝しています。

これからも、熊野町で書ができることを誇りに思い、努力を忘れず頑張っていきたいと思います。

本当にありがとうございました。」

表彰式には、賞に選出された方々が、北海道から沖縄まで全国より集まりました。本当に、本大会のスケールの大きさを感じました。そんな中での 2 年連続の受賞。

素晴らしい仲間・先生・家族がいる熊野町で書ができるからこそそのチーム熊野東の受賞であると感じます。

みなさん！「筆といえば熊野を思い、熊野といえば筆を思う」と言われるように日本一の筆の町『熊野町』の一員であることに誇りを持ってください。おめでとうございます。

文部科学大臣賞作品

